



# 三角小だより

1月号

ふじみ野市立三角小学校  
令和8年1月8日

## 【学校教育目標】

ゆめのある子

- ・かしこい子 (知)
- ・やさしい子 (徳)
- ・たくましい子 (体)



## 3学期の取組

校長 湯本 貴幸

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、3学期がスタートしました。冬休み中、本校では大きな事故やけがの報告もなく、子供たちが元気に始業式の日を迎えられたことを大変嬉しく思います。1月6日には島根県で大きな地震がありましたが、本校に関わる皆様が無事で、こうして今日を迎えられたことに、改めて感謝の気持ちを抱いております。

3学期は、「一年間のまとめ」と「次の学年への準備」を同時に進める、大変重要な学期です。本校では、次の2つの視点を大切にしながら教育活動を進めてまいります。

### 1 今年度の学習・生活の「整理と総括」

まず、子供たちがこの一年間の学習や生活を丁寧に振り返り、自身の成長を確かめることを大切にします。授業や行事、日々の学校生活を通して、「できるようになったこと」「継続して努力してきたこと」「次につなげたい課題」などを自分の言葉で整理し、次年度への確かな一歩と結び付けていきます。

こうした振り返りを通して、子供たちは「自分の学びは自分でつくる」という主体性を育み、進級・卒業に向けた自信を深めていくことができます。

### 2 学級内での「人間関係づくりの完成」

3学期は、学級づくりの集大成となる時期でもあります。これまでの関わりをさらに深め、「安心して過ごせる」「互いを認め合える」学級を完成させることを目標としています。その際に重視しているのが、子供たちの「自立」と「自律」の意識です。

自立とは、自分の考えをもち、自らの行動に責任をもつこと、自律とは、感情や行動を落ち着いて調整し、よりよい判断をしようとする力です。

2学期には、友達関係に関わるさまざまなトラブルが見られました。終業式では、「誰かが傷ついたり、不安な思いをしたりする行為は決してあってはならないこと」を伝えるとともに、「人は間違いや失敗を繰り返しながら考え、正していくことで成長していく存在である」ことにも触れました。

この2つの視点を大切にすることで、子供たちは困難な場面にも向き合い、乗り越える力を身に付けていくと考えています。

年度末には、友達とのトラブルを話し合いによって解決しようとする姿や、互いに声をかけ合いながら学習や活動に取り組む姿が、より自然に見られるようになることを願っています。

3学期が、子供たち一人一人にとって一年間の学びと成長を実感し、希望をもって次の学年へ進むための大切な時間となるよう、教職員一同、丁寧に支えてまいります。